

国土強靱化、地域振興への取り組み

フォーラムエイト デジタル技術で貢献

フォーラムエイト(東京都港区、伊藤裕二社長)では、国土強靱化と地域振興への取り組みとの連携、とりわけ、各自治体におけるインフラ分野での取り組みへのデジタルを通じた貢献を目的として、2019年以来、全国中核都市で『地方創生・国土強靱化FORUM8セミナー・懇親会』(地方創生セミナー)を毎年実施している。全国15カ所のリアルな会場での地方創生セミナーを実施した。2月1日の沖縄県那覇市でのセミナーを皮切りに、3月30日の北海道札幌市での開催まで、すべての会場に伊藤社長自らも出席。地方のユーザーや自治体、企業、団体等の関係者との交流を図った。また同社では、3月に秋田県や愛知県豊田市などと協定を結び、地方におけるDXの推進やデジタルツインによる地方活性化を支援する活動を強化している。これらの取り組みを報告する。



2月10日の「地方創生国土強靱化セミナー宇部」の様相

地方創生セミナーについて、伊藤社長は「内閣府官房からは、国土強靱化の施策と地域活性化の取組みを連携することで相乗効果を図り、特に各自治体におけるインフラ分野での取り組みを重点化する方針が示されている。リアルな会場で全国各地において、このセミナーを開催することで各地の人たちと実際に会えることで、より一層の交流を図り当社の事業も進めていきたい」と説明する。2月10日には、山口県宇部市で『地方創生国土強靱化セミナー宇部』を開催した。当日は内閣府の国土強靱化推進室西澤洋行氏の特別講演を実施した。デジタル化関連では、国土強靱化を効率的に進めるデジタル化24施策や、フォーラムエイトも含む取り組みについて報告した。伊藤社長は「西澤氏は国土交通省で九州地方整備局遠賀川河川事務所長などを歴任して、洪水流域対策についての具体的な説明など分かりやすく説明した」と話していた。

全国15カ所で「地方創生セミナー」を開催

沖縄・鹿児島・福岡・宇部・松山・松江・広島・大阪・金沢・長野・名古屋・新潟・仙台・青森・札幌

フォーラムエイトは、秋田県、秋田大学、テクノス秋田、およびプロードバンドセキュリティと「情報関連産業の振興に係る連携協力に関する協定書」を締結した。協定締結式は3月9日に秋田市の秋田県庁本庁舎で開催され、秋田県知事の佐竹敬久氏、秋田大学の山本文雄氏ら関係者が出席した。フォーラムエイトからは武井千雅子副社長が列席し、プレゼンなどを実施した。

秋田県、秋田大学などと協定 情報関連産業で連携協力

この連携では、秋田県におけるデジタル人材育成の強化に取り組み、情報関連産業の振興と地域社会の活性化につながることを目的としており、XR・メタバース・情報セキュリティなどを主とした情報技術とデジタルサイエンス・AI等のデジタル技術を活用した教育研究の取り組みと実践学習の拠点として活用する。



協定締結式の模様 (左がフォーラムエイトの武井副社長、中央が佐竹知事、知事の左隣が山本学長)

さらに秋田県の地域課題など、今回の連携協定を通して、秋田県の地域活性化に対し、さらなる貢献を目指す。同時に、2024年にIC T・データサイエンス系の新学部が設置される秋田大学との産学連携をより深め、多様な分野におけるDXの展開を進めていく方針だ。

伊藤社長は「当社が建設DXに寄与するさまざまなソフトウェア製品や、今年11月には、豊田市内の豊田スタジアムを拠点、フォーラムエイトがタイトルスポンサーを務める『ラリージャパン2023』が開催予定だ。太田市長は「フォーラムエイトとは、できるだけ長く協力関係を続けていきたい」と話している。



名古屋会場の体験コーナーでは「F8VPS メタバースでバーチャルショールーム体験」などを展示



3月14日の名古屋会場では初代国土強靱化大臣、衆議院議員の古屋圭司氏が登壇

3月14日には愛知県名古屋市中で『地方創生国土強靱化名古屋セミナー』を開催した。特別講演として、初代国土強靱化担当大臣として策定した国土強靱化基本計画について説明。さらに、リニア中央新幹線によるデジタル田園都市構想実現を支援するフォーラムエイトの取り組みについて、「デジタルツインによる持続可能な都市の実現に向けた連携協定」を締結した。3月15日に豊田市の役所南庁舎において協定締結式が開催され、伊藤社長と太田市長が協定書を交わした。

伊藤社長は「2021年からフォーラムエイトは、積極的なDXの取り組みを推進している。2022年には「デジタルツイン」の活用検討が開始され、デジタルツインの早期実現を目指している。太田市長は「2021年からフォーラムエイトは、積極的なDXの取り組みを推進している。2022年には「デジタルツイン」の活用検討が開始され、デジタルツインの早期実現を目指している。太田市長は「2021年からフォーラムエイトは、積極的なDXの取り組みを推進している。2022年には「デジタルツイン」の活用検討が開始され、デジタルツインの早期実現を目指している。」と話している。



協定書を交わした太田市長と伊藤社長

名古屋で講演と製品デモ 初代国土強靱化大臣が登壇

3月14日には愛知県名古屋市中で『地方創生国土強靱化名古屋セミナー』を開催した。特別講演として、初代国土強靱化担当大臣として策定した国土強靱化基本計画について説明。さらに、リニア中央新幹線によるデジタル田園都市構想実現を支援するフォーラムエイトの取り組みについて、「デジタルツインによる持続可能な都市の実現に向けた連携協定」を締結した。3月15日に豊田市の役所南庁舎において協定締結式が開催され、伊藤社長と太田市長が協定書を交わした。

政策の推進やデジタル田園都市構想、地方創生による自動運転の可能性について、前向きな発言をした。またフォーラムエイトが冠スポンサーを務める国際モータースポーツイベント「ラリージャパン」に秘めた可能性についても言及した。

豊田市と相互に連携 DXの取り組みを支援

フォーラムエイトは、愛知県豊田市と相互に連携し、豊田市が抱えるさまざまな課題について、デジタルツイン上のシミュレーションなどを活用し、解決を図るため、「デジタルツイン」による持続可能な都市の実現に向けた連携協定」を締結した。3月15日に豊田市の役所南庁舎において協定締結式が開催され、伊藤社長と太田市長が協定書を交わした。

1つとしても自動運転バスを走らせることは期待される」と述べ、「ステアリング制御自動運転シミュレーター」などのデモを実施した。